

木曾川町連区

第3号

地域づくり協議会だより

発行日：平成 26 年 6 月 1 日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会

一宮市木曾川町内割田一の通り 27 (木曾川町庁舎内) 電話：84-0005

メールアドレス k-chiiki@orihime.ne.jp

=== 新連区長さんよりあいさつをいただきました ===

木曾川町連区町会長協議会会長 今枝 正清

4月から新しく木曾川町連区長を、務めています門間区長の今枝正清でございます。何分にも不慣れで、分からないことばかりで戸惑っていますが、皆様に助けていただきながら、重責を果たしてまいりたいとおもいますので、よろしく願いいたします。



さて、今年度の大きな変化といえますか特徴の一つは、一宮市が推し進めている「地域づくり協議会」が、木曾川町連区でも「地域のことは地域で」の合言葉のもと正式に発足いたしました。市内 23 連区のうち、すでに 14 連区で先行し、今年新たに 3 連区が発足して 17 連区となりました。

木曾川町連区には、木曾川町連区にあった方法・仕組みをつくり、連区の実情に応じた活動で、「連区」と「地域づくり」は、車の両輪と言えます。とは言え、まだ誕生したばかりで、手探り状態ではありますが、焦らず先を見つめて一歩ずつ前進できればと考えております。

もう一つは、東日本大震災以後の防災に対する意識の高まりと市の助成もあり、何時来てもおかしくないと言われる南海トラフ地震に備えて、長らく行われてこなかった防災訓練を、各町内の自主防災組織・消防署・消防団・ボランティア団体などの協力を得まして、行うことになりました。

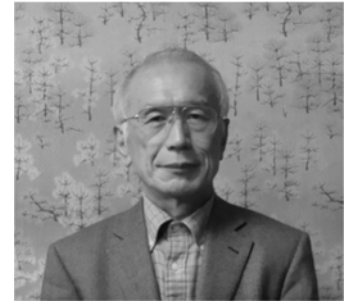
3 小学校区別に今年は木曾川西小学校区で行い、来年は木曾川東小学校区、その次は黒田小学校区の順に 3 年に 1 回の割合で行う事に決まりました。今年は、10 月 5 日(日)木曾川西小学校でと、実施日と場所は決まっておりますが、具体的な内容は現在検討中で、決まりましたら「地域づくり協議会だより」などを通してお知らせいたしますので、その節は多くの方々の参加をお願いします。

また、新三役・役員も決まっております、ともに手を携え関係機関との密接な連携を保ち、地域社会の進展に努力する所存ですので、ご支援・ご協力のほどお願いしまして、挨拶とさせていただきます。

=== 木曾川町のこれからについて、3部会長に伺いました ===

安全安心部会長 国井 紀元

「安全安心」は、日常生活を安心して暮らすための基盤です。地域の現状をみますと、犯罪発生件数では、一宮市は県内ワースト4、侵入盗ではワースト1でした（平成25年）。木曾川町でも侵入盗が多く発生しています。防災対策では、自主防災の活動は低調と感ずます。



一方、数多くのNPO、ボランティア団体の活発な活動もあります。連区での活動では、各種団体の連携は組織としてなく、いわゆるバラバラな活動でした。

部会としては、各種団体の意見交換・議論を活発にして、連区の問題点、対策を考え、実践すること、すでに先進的な活動を進めている防犯・交通安全・防災等の団体の協力を求め、また参加者の拡大を図り、小さな事からでも着実な活動を進めたいと思います。

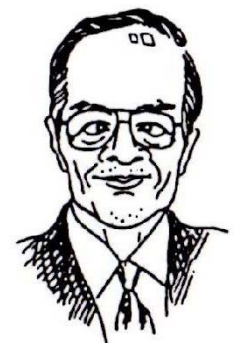
最初の活動として、10月5日（日）に木曾川西小学校において、木曾川町連区の西小学校下、3区の町内会（自主防災会）を主体に防災訓練を実施します。関係する各種団体との共催、協力を得て実施することにより、多くの各種団体の連携による協働活動の第一歩にしたいと思います。

安全・安心の環境を良くする活動は、できる限り多くの立場の方の参加が大切と思います。皆さんと、安全安心な木曾川町を築く気概です。よろしくお願いいたします。

活気部会 山口 昭雄

いよいよスタートです。

ついこの間「連区」という呼称が目新しかったところに、また、新しい制度が重なったものだから、木曾川町地域ではまだ十分に理解が進んでいるとはいえません。予算も連区と重複しているのではないかという疑問が出ているほどです。



公民館長として協議会副会長を務めさせていただく立場から、一つだけこの制度の前向きな面についてご説明いたします。地域づくり協議会の理念は「地域の主体性を高める」ということです。合併後「木曾川町らしさ」をどう保っていくかで、公民館事業はじめ様々な苦勞がありました。それが解消されるのではないかと期待されるのです。木曾川町独自の活動体である「木曾川文化スポーツクラブ」「地域福祉ネットワーク会議」「文化団体協議会」などがすでに協議会入りしており、これまでのように「特例」としてではなく「ふつうに」独特の力を発揮していける態勢が出来ています。今後は協議会の主体性のもと、更に意欲的な活動体の参加が可能になっていくはずで

「自分の町に誇りを持ってな損だがや！」の精神が地域づくりには肝要・・・、おおぜいの皆様の地域づくり協議会へのご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。

“世代を超えた住民間のふれあいと絆を深める”

思いやり部会長 岩田 侃次

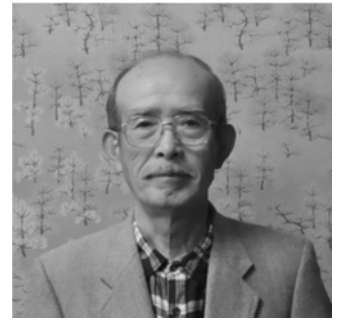
私たち部会は、敬老会事業・見守りネットワーク事業について、大局的に検討する場で横のつながりを強化し、各種団体・地域住民から地域の課題や意見の提案を集約します。

地域全体での協調・協力がとれる様に部会、役員会で協議し、実行部隊となる各種団体へ提案、サポートをしたいと考えています。

木曽川連区見守りネットワーク推進委員会は、町会長・民生児童委員、主任児童委員を“福祉委員”に、町内会・老人クラブ・本会の趣旨に賛同する団体・個人の方々を“福祉協力委員”とし、協力を得ながら誰もが安心して暮らせることが出来る事故のない安全で健康な木曽川町にするため、平成20年4月1日に設立されました。

ここ2年は、町内会と民生委員との連携強化に努め、それなりの成果はとっている町内が多くなっているので、今年度は見守りネットワーク事業への取り組みスタートの年としたいと願っています。

木曽川町の“福祉力”向上にご協力をよろしくお願い致します。



=== 学校紹介 ===

木曽川町の小中学校を2回にわたって紹介します。

木曽川中学校

「3つのキーワード」を柱にして

昨年度から本校の教育目標について設定した3つのキーワードを、本年度はさらに意識して取り組んでいきたいと思えます。

まず1つ目は『凡事徹底』です。『凡事徹底』とは「当たり前なことを当たり前にする事」です。昨年度もこの「凡事徹底」により大きな成果を積み上げてきました。平凡を積み重ねれば非凡になるということを学ばせていきたいと思えます。

次に、昨年度から取り入れた『参画』です。『参画』とは、「さまざまな活動に自分の意思で積極的に参加し、関わっていくこと」を言います。つまり、一人一人の持っている力を、学級・学年・部活動・学校全体のために、あるいは地域社会や日本全体、世界全体のために役立てる事です。一人一人の力は小さなものですが、『参画』の意識を持った一人一人が結びついたとき、世の中を動かすほどの大きな力となります。

そして3つ目は、今や木曽川中学校の代名詞とも言うべき『千人力』です。今年度は全校生徒1,042名でスタートしました。千人を超える生徒が心を一つにして取り組むときに生み出されるパワーは、他校には絶対に追いつくことのできない市内ナンバーワンの力となります。

機会あるごとにこれらの3つのキーワード『凡事徹底』『参画』『千人力』を具体的な行動として表現していく木中生に、今年度も大きな期待を寄せています。



木曾川西小学校

*** 「元気で 仲よく 大好き 木西」をめざして ***

このたびの異動で大和南中学校より赴任しました、校長の小澤 厚義です。
どうぞよろしく申し上げます。



平成 26 年度は新 1 年生 127 名を加え、児童数 801 名でスタートしました。
木曾川西小学校は明るく素直な児童ばかりですが、さらなるレベルアップをめざして、始業式では次の話をしました。

- ① 先生を好きになってください。先生は、たくさんの経験があります。先生の言うことはとても大切なことばかりです。先生の話をよく聞き、行動していくと先生からほめてもらえます。
- ② お兄さんやお姉さんを好きになってください。お兄さんやお姉さんの言うことをしっかりと聞き、行動してください。そうするとお兄さんやお姉さんは、優しく親切にしてくれます。
- ③ 友だちを好きになってください。そのために元気で、仲良くしましょう。「元気」は、いつも笑顔で世話がやけること。「仲良く」は、気さくに話ができて、人に迷惑をかけないことです。先生を好きになり、お兄さんやお姉さんを好きになり、友だちを好きになると学校が大 好きになります。「元気で仲よく 大好き木西」と全員が言える学校にしていきたいですね。

子どもたちが元気で楽しい学校生活を過ごせるよう職員一同全力を尽くします。今後とも地域・保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしく申し上げます。

=== 団体紹介と行催事予告 ===

♥ 木曾川地区地域福祉ネットワーク会議 ♥

「地域でいつまでも安心して暮らせる町づくり」をめざして平成 13 年に官民合同の組織を立ち上げ、一宮市と合併を機会に会費制の自主組織として存続させました。

活動は、住民の集いと視察研修会を開催し、福祉の向上と住民のネットワークづくりに努めています。

その活動の中でも、「ふれあい・いきいきサロン」は、少子高齢化時代を迎え住民のコミュニティの場として最もふさわしい施策としてその具体化を図りました。木曾川連区内に3ヶ所、ボランティアの協力で開設できました。

お年寄りが歩いて寄れる集会場がその舞台です。歌あり踊りありと楽しい笑い声が響きます。ひとり暮らしのお年寄りが気軽に立ち寄り茶飲み話に花が咲く。さらに鍵っ子の子供たちの遊び場としてお年寄りとの交流の場になればと夢は広がるばかりです。

木曾川連区内全域に「ふれあい・いきいきサロン」を開設するために、社会福祉協議会の後援の元、地域づくり協議会で住民のみなさんと話し合って開設準備に向けた組織展開が必要です。福祉ネットワーク会議のメンバーがそのお手伝いを率先して活動します。一宮市の人口も減少にたんじました。住み良い町づくりは、住民の手で作る時期に差し迫りました。

一緒に行動を起こしましょう！

@@@@ 広報部会より @@@@

住みやすい町づくりのために、住民の皆さんの積極的な参加が必要です。協議会の行事予定や結果等を協議会をたよりでお知らせすると共に、みなさんからの情報をいただいて、一緒に地域づくりのお役に立ちたいと思います。行事の予定や結果の情報、協議会へのご意見・質問等、お待ちしております。

連絡先： ☎ 84-0005 メールアドレス k-chiiki@orihime.ne.jp

平成26年度 木曾川公民館事業

♥ 木曾川地区地域福祉ネットワーク会議 ♥

「地域でいつまでも安心して過ごす」ために

地域福祉と住民の集い

と き：平成26年6月22日（日）午後1時30分～午後4時
(開場・受付 午後1時より)

と ころ：木曾川公民館 2F 講堂
(木曾川庁舎2階 西側階段より上ってください)

1. 講演 “あなたが来なきや始まらない”
くぼた ひさよ
講師 久保田 久代氏
*プロフィール：
平成10年より地域中での助け合いの仲間づくりを目標に、ふれ愛生きがい助け合いの会「はっぴーわん」を立ち上げ絵手紙・習字・料理等の教室・講習を開き活動を行う。さわやか福祉財団のインストラクターとしても活動中。
2. ミニコンサート： 男声カルテットG5
山口昭雄さんがリーダーの男声カルテットG5♪ 苦節17年の歌声♪
3. 展示発表： 多数の登録団体が展示パネルで活動発表

皆様お誘い合わせの上「地域福祉と住民の集い」にお出かけください
☆ 入場は無料です。アンケートにお応え頂いた方に粗品進呈 ☆
問い合わせ 木曾川地区地域福祉ネットワーク会議 会長 野々垣 實 tel 86-3573